

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名		家電リサイクル推進事業費		担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度		平成19年度～		担当課室	企画課リサイクル推進室		室長 森下 哲				
会計区分		一般会計		施策名	4-2 循環資源の適正な3R (リデュース・リユース・リサイクル) の推進						
根拠法令 (具体的な条項も記載)		特定家庭用機器再商品化法		関係する計画、通知等	—						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)は、平成18年6月から制度見直しのための検討を行い、平成20年2月に報告書がまとめられ、液晶テレビ・プラズマテレビ、衣類乾燥機を対象機器に追加するなど、必要な政省令等の整備を行ったところ。本事業では、法の円滑な施行を図り使用済家電の適正なリサイクルの推進を図るため、使用済家電の排出動向、リサイクル技術等の調査・検討を行う。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)		2011年のアナログ放送停波に伴い、地上波デジタル放送に対応していないブラウン管テレビの排出が増大することが見込まれており、円滑な回収・リサイクルを確保することが不可欠である。このため、地上デジタル放送対応テレビ、デジタルチューナーの普及動向を含めたブラウン管テレビの排出動向調査を行うとともに、ブラウン管ガラスカセットのリサイクル・処理技術の評価を行う。 また、電気電子機器等の流通・処理実態調査を行う。									
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他									
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求			
		予算の状況	当初予算	52	35	31	12	9			
			補正予算	0	0	0	0				
			繰越し等	0	0	0	0				
			計	52	35	31	12	9			
		執行額	31	9	16						
執行率 (%)	60	26	52								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (各年度)		
		家電リサイクル法における特定家庭用機器の再商品化率(家庭用エアコン)			成果実績	%	89	88	88	70	
					達成度	%	127	126	126		
		家電リサイクル法における特定家庭用機器の再商品化率(ブラウン管式テレビ)			成果実績	%	89	86	85	55	
					達成度	%	162	156	155		
		家電リサイクル法における特定家庭用機器の再商品化率(液晶・プラズマテレビ)			成果実績	%	-	74	79	50	
					達成度	%	-	148	158		
		家電リサイクル法における特定家庭用機器の再商品化率(冷蔵庫・冷凍庫)			成果実績	%	74	75	76	50(～H20) 60(H21～)	
					達成度	%	148	125	127		
		家電リサイクル法における特定家庭用機器の再商品化率(洗濯機・衣類乾燥機)			成果実績	%	84	85	86	50(～H20) 65(H21～)	
					達成度	%	168	131	132		
		活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
				本業務は使用済家電の適正なリサイクルの推進を図るため、使用済家電の排出動向、リサイクル技術等の調査・検討するものであり、定量的な指標及び実績を数値で示すことはできない。			活動実績 (当初見込み)				
		単当たりコスト		(円/)			算出根拠				
平成23・24年度予算中	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由						
	環境保全調査費		12	9	事業内容等の見直し						
	計		12	9							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>事業実施等の状況把握については、事業者との間で、電話や電子メール等で連絡するとともに定期的に当省担当者との打合せ会議を行い、常に事業の進捗状況や予算の用途を確認している。 今後さらなる予算の重点化・効率化を検討し、事業の効率化に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		<p>処理技術の変化等、状況の変化に対応して事業のあり方、内容を見直すことで、予算額を節減すべき。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>調査内容の重点化により、概算要求額を減額。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

※平成22年度実績を記入

環境省
16百万円



【総合評価入札】

A
㈱三菱総合研究所
16百万円

テレビジョン受信機の
リサイクル・適正処理
調査

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.株式会社三菱総合研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	テレビジョン受信機のリサイクル・適正 処理調査	16			
計		16	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社三菱総合研究所	テレビジョン受信機のリサイクル・適正処理調査	16	1	78.6%